

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証

| No. | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 (円) | 補助対象事業 費 (円) | 事業実績 | 効果検証 | 担当課 |
|-----|--------------------------|--|----------|----------|-------------|--------------------|---|--|-----------------------------------|
| | | | | | | | | | |
| 1 | 子育て世帯支援給食費無償化事業 | 子育て世代への支援として、保育園・幼稚園・小学校・中学校の給食費を無償化 | R2.6 | R3.5 | 89,970,148 | 89,914,000 | 給食費無償化に係る経費負担分 89,809,224円 その他諸経費 160,924円 | 無償化により経済的負担を軽減でき、効果があった。 | 児童福祉課 ・ 教育総務課 ・ 学校教育課 |
| 2 | 子育て世帯支援特別給付金事業 | 児童手当・特例給付を受給している受給者に、児童一人につき10,000円を支給 | R2.6 | R3.5 | 27,310,678 | 27,309,000 | 給付金負担分 25,956,000円 システム改修費 924,000円 その他諸経費 435,678円 | 無償化により経済的負担を軽減でき、効果があった。 | 児童福祉課 |
| 3 | 水道基本料金無料化事業 | 家庭用・営業用水道基本料金を2ヵ月無料化 | R2.6 | R3.3 | 44,348,978 | 43,900,000 | 水道料金無料化に係る経費負担分 44,348,978円 | 2ヵ月という短期間ではあったが、市民の生活や経済活動に対する緊急支援につながった。 | 水道局 ・ 生活環境課 |
| 4 | 五條市新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金事業 | 奈良県から施設の使用制限の要請を受けて、施設の休止や営業時間の短縮に協力し、奈良県新型コロナウイルス感染症拡大防止協力金の給付を受けた市内事業者に対し、中小企業は10万円、個人事業主は5万円を給付する。 | R2.5 | R3.1 | 4,258,064 | 4,258,000 | 協礼金 4,250,000円 郵便料 8,064円 | 中小企業10件、個人事業主65件、合計75件に交付。施設の休止や営業時間短縮に協力した事業者への売上の一部補填ができた。 | 企業観光戦略課 |
| 5 | 公立学校情報機器整備事業 | 学習指導要領においてICT教育の環境の整備が課せられていることにより、「1人1台端末の早期実現」「学校ネットワーク環境の全校整備」「GIGAスクールサポーターの配置」「ICT支援員の配置」「緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備」等を行う。 | R2.7 | R3.3 | 13,341,848 | 13,341,000 | タブレット借上料 10,921,848円 ソフト導入委託料 2,420,000円 | ・各校半数以上の授業支援ソフトを使用した授業を行った。 ・活用している状況を学校ブログに載せた。 ・今年度中に家庭に一度は端末を持ち帰った。 ・教員のICT活用指導力調査で「できる」「ややできる」と回答する教員の割合を全国平均以上になる予定。 | 学校教育課 |
| 6 | 公立学校情報機器整備費補助金 | | R2.7 | R3.1 | 232,804 | 116,000 | Webカメラ 181,104円 タブレット用スタンド 51,700円 | | |
| 7 | 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業 | | R2.7 | R3.3 | 958,232 | 957,000 | i Pad購入費 919,600円 ウェアラブルネックスピーカー 38,632円 | | |
| 8 | 公立学校情報機器整備費補助金 | | R2.10 | R3.3 | 4,791,600 | 2,396,000 | GIGAスクールサポーター業務委託料 4,791,600円 | | |
| 9 | 公立学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業 | | R2.10 | R3.3 | 2,640,000 | 2,640,000 | ソフトウェアサポート委託料 2,640,000円 | | |
| 10 | 新生児向け特別定額給付金事業 | 国の特別定額給付金の対象とならなかった令和2年4月28日から令和3年3月31日までに出生した新生児について、その健やかな成長を応援するため、その保護者に当該新生児1人につき10万円の新生児向け特別定額給付金を支給する。 | R2.7 | R3.5 | 8,941,049 | 8,940,000 | 給付金 8,900,000円 その他諸経費 41,049円 | 支給率100% 国の特別定額給付金に引き続いての措置として、子どもの健やかな成長を応援することができている。 | 企画政策課 |
| 11 | 高校生以下の子どもに対する図書カード支給事業 | 令和2年7月30日時点で五條市に住民票のある、小中学生を除く高校3年生までの児童に、一人5000円の図書カードを支給する。 | R2.9 | R3.4 | 18,531,236 | 9,674,000 | 図書カード購入 17,715,000円 その他諸経費 816,236円 | 保護者からは、家で過ごす時間が多くなり、本を購入しやすくなるので、ありがたいと好評であった。 | 児童福祉課 ・ 学校教育課 |
| 12 | 幼児の体験機会創出支援事業 | 新型コロナの影響により園外行事等が中止となっていることから、感染予防を講じつつ幼児の体験機会を創出するためのイベント実施する。 | R2.10 | R3.2 | 1,180,300 | 590,000 | イベント開催業務委託料 1,180,300円 | コロナ禍においても幼児が楽しむことのできる機会を創出するという趣旨に則り、思い出作りに寄与することができた。 | 児童福祉課 ・ 教育総務課 |
| 13 | 児童、障害児に対する新しい生活様式定着支援事業 | 集団活動を行っている子どもたちの感染予防に取り組むため、楽しみながら手洗い習慣の定着を図ることができる手洗い練習用スタンプを市内幼稚園、保育所、障害児通所支援事業所等に配布 | R2.9 | R2.9 | 108,570 | 108,000 | スタンプ代 108,570円 | 手のひらにスタンプした印影を市販の石けんでしっかり洗い落とすため、楽しみながら手洗い習慣の定着を図れた。 | 社会福祉課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証

| No. | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 (円) | 補助対象事業 費 (円) | 事業実績 | 効果検証 | 担当課 |
|-----|-----------------------------|---|----------|----------|-------------|--------------------|---|--|--|
| | | | | | | | | | |
| 14 | 学校保健特別対策事業費補助金 | 学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業を実施する。 | R2.9 | R3.4 | 10,032,028 | 5,015,000 | マスク・消毒液等消耗品 1,362,081円 AI顔認証サーモグラフィ等備品費 8,669,947円 | 感染症対策のための消毒作業に大量のアルコール消毒液が必要となり、学校に配当している消耗品費だけでは到底足りないため、大変有用であった。 | 学校教育課 |
| 15 | 教育支援体制整備事業費補助金 | 学力向上を目的とした学校教育支援事業「密」を避ける授業体制確保のための学習指導員の追加配置 | R2.8 | R3.4 | 2,534,226 | 845,000 | 会計年度任用職員報酬・旅費 2,534,226円 | 学習内容の定着が不十分な児童生徒に対して個別にフォローできた。 また実習を伴う家庭科や理科などの授業では、感染症対策で間を広くとった中で先生の言葉が届くように机間巡視を行えた。 | 学校教育課 |
| 16 | 臨時休業期間中における一時預かり支援事業 | 臨時休業中、働く世帯において学童保育所未実施となる時間帯について、学校にてスクールサポーターを配置し、一時預かりを実施。加えて、学習時間の減少に伴う夏休休業短縮に伴うスクールサポーターの増員を行い、学習支援を強化。 | R2.4 | R2.11 | 625,500 | 625,000 | 会計年度任用職員報酬 625,500円 | 学童保育所未実施の時間帯に一時預かりを実施できたことで、臨時休業中における影響を抑えることができた。 また、夏休短縮に対してもスクールサポーターの追加配置により十分な学習支援を実施できた。 | 子どもサポートセンター |
| 17 | 高等学校生徒の「密」を避ける通学の確保事業 | 路線バスを利用して通学している賀名生分校生徒(約60名)のバス乗車時の「密」を避けるため、通常便に加え続行便車両(大型)を追加する。 9月1日～ 下校便に続行便車両1台追加 10月1日～ 登校便に続行便車両1台追加 | R2.9 | R3.5 | 2,303,000 | 2,303,000 | 運行維持対策費負担金 2,303,000円 | 9月1日から学年別分散登校が解消し、全学年一斉の登校(通常の校時)が再開されるタイミングで続行便運行が開始できた。 また、賀名生分校生徒の通学利用のみならず、一般利用者にとっても「密」を解消することができ、安全な乗車環境が提供できた。 | 企画政策課 |
| 18 | 「五條市お店応援クーポン券」事業 | 新型コロナウイルス感染症の影響により売上が落ちている事業者を支援するため、7月30日現在五條市に住民票を有する市民1人当たり5,000円のクーポン券(うち1,000円は飲食店用)を交付する。 | R2.8 | R3.4 | 157,314,821 | 86,595,000 | 事業費負担分 141,372,500円 業務委託 10,809,810円 その他諸経費 5,132,511円 | 飲食店用として1,000円のクーポンを入れたことにより、確実に飲食店で使用がされた。 消費税増税に伴うプレミアム商品券事業の参加店舗以上に多数の店舗が参加した。 | 企画政策課 ・ 企業観光戦略課 |
| 19 | 新しい生活様式を踏まえた市の魅力PRコンテンツ制作事業 | 市の魅力(観光地や特産品、事業者など)をPRする動画を制作し、テレビ放送を通じて県内に広報する。放送後は市HPやSNS(Facebook、YouTube)で発信する。また、広報担当が映像等を制作し、発信していく。 | R2.8 | R3.3 | 1,177,605 | 1,176,000 | カメラ等備品購入費 178,805円 コンテンツ制作業務委託料 998,800円 | 市の特産品等をPRするサイトを開設したことと、コロナ禍で在宅時間が増え、インターネット購買が増進したことにより、インターネットを通じたふるさと納税額が大幅に増加した。(令和元年度比1,476件 13,852,000円増加) | 企画政策課 |
| 20 | ごみ集積時及び集会所等における感染症防止対策事業 | 五條市の「ごみと資源物の分け方・出し方」及び環境省作成の「新型コロナウイルスなどの感染症対策のためのご家庭でのごみの捨て方」を記載した看板を製作し、五條市内全域のごみ集積場に配置することで、全市民に対する啓発を行う。 | R2.8 | R3.2 | 3,909,400 | 3,909,000 | 看板製作委託料 3,795,000円 印刷製本費 114,400円 | 新型コロナウイルス感染予防の観点に基づいた正しいごみの捨て方を周知できたことで、市民の感染症予防への関心が高まった。 また、多くの市民が利用するごみ集積所に配置したことで、幅広く啓発を行うことができた。 | エコ・リレーセンター ・ ごじょう ・ 保健福祉センター |
| 21 | 避難所の感染症対策のための装備の整備事業 | コロナ禍における避難所の感染症対策として、可搬型蓄電池や分散避難のための簡易型テント等を整備する。 また、感染の疑いがある避難者のための専用避難所を設置し、避難所としての機能維持を行う。 | R2.8 | R3.3 | 15,167,649 | 15,167,000 | 感染対策用備品購入費 14,546,184円 施設機能維持経費 621,465円 | 避難所開設時の感染症防止対策として消毒資材や従事職員着用資材、また、停電時の蓄電池や簡易型テント等を購入。専用避難所の従事者を対象とした訓練を実施すると共に避難所開設時のマニュアルも作成。今年度は幸い専用避難所の開設まで至らなかったものの、感染防止対策として事前準備は対応できた。 | 危機管理課 ・ 花咲寮 |
| 22 | 再度の感染拡大に備えた備品等の備蓄事業 | 再度の感染拡大に備え、空気清浄機やオートディスプレイ等を配備すると共に、感染症予防対策としてマスク等を備蓄する。 | R2.8 | R3.4 | 4,296,326 | 4,295,000 | 消毒液・アクリル板等消耗品 1,498,696円 非接触型温度計・空気清浄機等備品 2,797,630円 | 非接触式体温計やアクリル板等感染拡大防止に必要な物品を配置する等感染防止対策を講じることにより、事業や業務を継続することが出来た。また感染拡大防止に必要な物品を揃えた。 | 保健福祉センター |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証

| No. | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 (円) | 補助対象事業 費 (円) | 事業実績 | 効果検証 | 担当課 |
|-----|-----------------------|--|----------|----------|-------------|--------------------|--|--|----------|
| | | | | | | | | | |
| 23 | 図書館魅力向上事業 | 外出を控える生活の中での余暇に本を読む楽しさを味わえる契機となるよう、市立図書館の図書を増やしてさらに魅力ある内容にし、加えて感染症対策として図書を消毒するための図書専用除菌機を配備する。 | R2.4 | R3.3 | 3,295,171 | 3,294,000 | 図書除菌機購入 1,322,200円 図書購入費 1,972,971円 | ・図書除菌機の設置により、利用者が貸し出した本を自分で除菌でき、安心して利用できる環境整備が図られた。 ・蔵書冊数を増やすことにより、外出抑制による在宅時間が多かった市民に対し、借りる図書の選択肢の拡大につながった。 | 生涯学習課 |
| 24 | 中小企業等事業者への支援金支給事業 | 新型コロナウイルス感染症関連の奈良県制度融資等を受けた中小事業者に事業継続のための資金として、一事業者20万円を給付する。 | R2.8 | R3.2 | 57,624,286 | 57,624,000 | 支援金 57,600,000円 その他諸経費 24,286円 | 288件の事業者に交付。 貸付金及び保証金への充当以外は用途に制限がなく、事業者が活用できる資金として交付できた。 | 企業観光戦略課 |
| 25 | 買物代行支援事業 | コロナ禍における市民等及びタクシー会社への支援及び地域商店等の活性化を目的として、市内タクシー事業者が近畿運輸局に届け出て実施する「救援事業(買物や荷物等の受取・配送など、外出が必要な用務の代行等)」を1回500円で利用できるようにし、通常料金との差額を市がタクシー事業者に助成する。 | R2.8 | R3.5 | 355,500 | 227,000 | 支援金 355,500円 | 利用実績は増加傾向にあり、少しずつ当該事業の認知が広がっていると同時に、外出を控える方や外出が困難な方への支援に繋がっていると考える。 ただし、利用実績額は当初の想定より僅少であり、タクシー事業及び地域商店等への効果は限定的である。 | 企画政策課 |
| 26 | コミュニティバス等利用者運賃無償化事業 | コロナ禍の影響を受ける市民等への支援として、市が運行するコミュニティバス等の利用者が負担すべき運賃を無償とし、その運賃相当額を利用者に代わり市が負担する。 | R2.8 | R3.4 | 4,331,194 | 4,330,000 | 運賃無償化に係る事業費 4,331,194円 | 利用実績は概ね前年度水準もしくはそれ以上で推移しており、利用者への負担軽減が歓迎され、利用促進に繋がっていると考えられる。デマンド型に関しては、利用促進による運行回数増により事業者支援にも繋がっている。 | 企画政策課 |
| 27 | 路線バス利用者への運賃補助事業 | 路線バス利用者への負担軽減として、申請に基づき奈良交通ICカード「CI-CA」のチャージ券5,000円分を交付 | R2.8 | R3.5 | 3,211,390 | 1,759,000 | ICカードチャージに係る経費負担分 3,140,000円 その他諸経費 71,390円 | | |
| 28 | 内定取り消しや雇止めになった方への支援事業 | 新型コロナ感染症による企業の事業縮小等により内定取り消しや雇止めになった方を一時的に雇用 | R2.7 | R3.4 | 1,457,302 | 1,456,000 | 会計年度任用職員報酬 1,457,302円 | 看護師2名及び事務補助1名、合計3名の会計年度任用職員を雇用し、新型コロナウイルス対策の業務を担うことで、正規職員の負担軽減、新型コロナウイルス対策事業の推進が図れた。 | 秘書課 |
| 29 | 再度の感染拡大に備えた医療体制の整備事業 | 五條市応急診療所に発熱患者診察室等を整備し、感染症に対応した医療体制等の構築を図る。 | R2.10 | R3.3 | 11,456,610 | 11,455,000 | 発熱患者診察室用備品 10,639,530円 その他諸経費 817,080円 | 発熱患者の診察を行なう医療機関が限定されていたが、応急診療所においても安全に発熱患者の診察が行える体制を整え、診察が実施できるようになった。市民が安心して受診できる医療体制の構築につながった。 | 保健福祉センター |
| 30 | 大塔診療所医療体制整備事業 | レントゲン画像診断モニターを増設更新することにより診察室での医療診断を可能とするとともに、電子カルテを導入し南奈良総合医療センターとの医療情報の共有化を図り、医療体制を強化する。 | R2.10 | R3.3 | 7,535,000 | 7,535,000 | レントゲン画像診断機器 1,595,000円 電子カルテシステム一式 5,940,000円 | 機器の更新を行うことでOS更新や診療時間の短縮、予約管理で患者同士の接触を最小限にするなど感染症拡大防止対策ができ、市民が安心して受診できる環境になった。また南奈良総合医療センターとの医療情報の共有化を図ることで患者の負担軽減と早期治療にもつながっている。 | 保健福祉センター |
| 31 | 窓口証明書等申請支援システムの追加配備事業 | 市役所窓口において、住民票及び各種証明書等発行申請に際し、マイナンバーカード又は運転免許証の認証により証明書等発行手続きを支援するシステムを増設する | R2.10 | R3.3 | 1,856,184 | 1,856,000 | システム導入委託料 1,856,184円 | 窓口申請書作成支援システムの導入により、窓口手続きがスピードアップされ、住民の方の「書く負担の軽減」や、窓口事務の効率化に効果があった。 | 管財課 |
| 32 | 教職員のWeb会議システムの整備事業 | 市内公立学校において、教職員が各校に居ながら会議ができるWeb会議システムを整備する。 | R2.10 | R3.3 | 85,525,000 | 73,261,000 | Web会議用PC購入 24,970,000円 システム構築等委託料 60,555,000円 | 教職員用のweb会議システムを構築したことで、これまで対面で行っていた会議をリモートで実施することができるようになり、学校をまたいだ感染拡大の防止が図れるようになった。 | 教育総務課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証

| No. | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 (円) | 補助対象事業 費 (円) | 事業実績 | 効果検証 | 担当課 |
|-----|--------------------------|--|----------|----------|-------------|--------------------|--|---|----------------------|
| | | | | | | | | | |
| 33 | 公開型GISの整備事業 | 市役所窓口にて公開している都市計画情報、地番図情報等について公開型GISを導入し、ネット上で閲覧できる環境を整備することにより、窓口への来庁機会を減らすと共に市民サービスの向上及び効率化を図る。 | R2.10 | R3.3 | 5,280,000 | 5,280,000 | システム導入委託料 5,280,000円 | システム導入後は、窓口において都市計画情報等の確認対応件数が減少したため、感染機会の減少を図れた。また、利用者が来庁せずに都市計画情報の確認を行うことが可能となり、職員の負担軽減にも繋がっている。 | 税務課 ・ まちづくり推進課 |
| 34 | 土地家屋登記履歴システムの整備事業 | 地方税法第382条の規定に基づく法務局からの登記情報通知について、現行の紙媒体に代わる電子データを活用し、賦課情報として解析・変換するシステムを構築し、接触機会を減らすと共に事務効率の向上を図る。 | R2.10 | R3.3 | 2,200,000 | 2,200,000 | システム構築委託料 2,200,000円 | 紙媒体の法務局からの税務通知書を電子化することで、仕分け作業等の業務負担を軽減することができる。また、ペーパーレス化の実現及び書類保管スペースの低減を可能とし、接触機会の減少により感染症に対する感染リスクの回避効果も得られる。 | 税務課 |
| 35 | 「密」を避ける公共交通運行事業 | 牧野小学校への通学利用が多いコミュニティバスの「なつみ台」～「田園5丁目南」間において、密を避ける続行運行のための大型バス1台を購入し、追加する。また、予約人数に応じ通常より少ない人数で大型車両を配車する。 | R2.10 | R3.4 | 24,071,150 | 24,013,000 | 大型バス購入費 23,650,000円 その他諸経費 421,150円 | 車両運行業者からの毎月の報告書により1便当たりの乗車数を確認。導入後は1便当たりの乗車人数について、40人を下回っており、事業効果が十分発現しているといえる。 | 企画政策課 |
| 36 | 学校保健特別対策事業費補助金 | 学校生活における児童生徒の感染症対策のためマスク、手指消毒液等を整備する。 | R2.10 | R3.2 | 601,946 | 299,000 | マスク・消毒液等消耗品 601,946円 | 感染症対策のための消毒作業に大量のアルコール消毒液が必要となり、学校に配当している消耗品費だけでは到底足りないため、大変有用であった。 | 学校教育課 |
| 37 | 収入が減少した中小企業者等への家賃支援給付金事業 | 国の家賃支援給付金(賃料月額2/3、6か月分、最大法人600万円、個人300万円)を受けた事業者に対し、国の給付金1月当たりの半額を給付する。(1か月5万円を上限として2か月分、最大10万円) | R2.10 | R3.4 | 1,560,618 | 1,559,000 | 給付金 1,559,358円 その他諸経費 1,260円 | 家賃の支援をすることにより、新型コロナウイルスにより影響を受けた賃貸物件で事業を行っている事業者の負担軽減及び事業の継続につながった。 | 企業観光戦略課 |
| 38 | バス・タクシー会社への支援事業 | ①タクシーへのセパレーターカーテン支給 コロナ禍初期における応急的な措置として、運転席と客席(後部座席)を仕切るセパレーターカーテンを調達し、市内タクシー会社に支給。 ②地域公共交通事業支援金 コロナ禍のなか、感染拡大防止措置を施しつつ安定した運行を維持する地域公共交通事業者に対し、その事業継続への支援金を交付。 | R2.5 | R2.12 | 2,305,230 | 2,305,000 | 支援金 2,210,000円 セパレーターカーテン等備品 95,230円 | ①応急措置的に交付し、適宜事業者により使用された。 ②各運行事業者とも新型コロナウイルス感染症の影響により減収を余儀なくされているが、その中で感染拡大防止措置に要する費用への支援に繋がっている。 | 企画政策課 |
| 39 | コンビニ交付環境整備事業 | マイナンバーカードを利用して全国のコンビニ店舗等に設置の端末から証明書が取得できる新たな住民サービスの仕組みを構築する。 | R2.10 | R3.9 | 33,880,000 | 33,880,000 | システム構築委託料 33,880,000円 | ・マイナンバーカードの利用機会の創出と、交付促進 ・窓口の混雑緩和と事務負担軽減 ・感染症対策(非対面式による証明書交付) | 市民課 |
| 40 | インフルエンザ予防接種促進事業 | 新型コロナ感染症と季節性インフルエンザが「並走」することが予想されることから、インフルエンザ予防接種にかかる自己負担分を免除し予防接種率の向上によりインフルエンザの蔓延を防ぎ、新型コロナウイルス感染症の感染への危険性を減減させる。 | R2.10 | R3.2 | 39,103,956 | 39,103,000 | 接種手数料 3,332,666円 接種委託料 35,648,495円 接種補助金 78,350円 その他諸経費 44,445円 | 高齢者インフルエンザ接種料金の自己負担金無償化実施により7,958人が接種しており、接種率は73%となり前年度比16.9%増加した。 県の定点調査では、R2年10月以降五條市におけるインフルエンザ感染者は発生は報告されていない。インフルエンザ患者による受診が減少したことにより、発熱患者による医療体制への逼迫の軽減に一定の効果があったと考えられる。 | 保健福祉センター |
| 41 | 地域公共交通計画策定事業 | コロナ禍及び収束後の地域の移動を支える地域公共交通について、MaaSなどを取り込んだ新たな地域公共交通体系の整備に向けた計画を策定する。 | R2.10 | R3.1 | 8,910,000 | 8,910,000 | 計画策定支援業務委託料 8,910,000円 | お出かけ促進、回遊促進につながる五條市版MaaSの発展の検討、交通事業者等と連携し、デジタル技術を活用したMaaSの導入の検討を明記した計画を策定した。 今後は、計画に基づき、五條市版MaaSの発展と、デジタル技術の活用等、新しい生活様式に則した地域公共交通施策を推進していく。 | 企画政策課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証

| No. | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業 始期 | 事業 終期 | 総事業費 (円) | 補助対象事業 費 (円) | 事業実績 | 効果検証 | 担当課 |
|-----|----------------------|---|----------|----------|-------------|--------------------|--|---|----------|
| | | | | | | | | | |
| 42 | 山間部における移動販売推進事業 | 比較的高齢者が多い山間地域において、感染症対策として乗合バスやスーパー等での人との接触を極力回避し、加えて高齢者世帯等の見守り支援のため、日常生活に必要な食糧品や日用雑貨を販売できる移動販売車を整備し、小売業者に運営を委託する。 | R2.10 | R3.3 | 7,559,090 | 7,000,000 | 移動販売車購入費 7,559,090円 | 令和4年4月に移動販売車両活用事業プロポーザル選定委員会を開催して当事業受託業者1社を選定し、受託業者に移動販売車を貸付して食料品等の移動販売を行っていただく契約の締結に向けて準備中である。 | 大塔支所 |
| 43 | モバイルワーク推進のための環境整備事業 | 新型コロナウイルス感染症対策及び働き方改革として、自宅又は出先等の庁舎外から庁内ネットワーク環境に接続して、通常業務を可能とするテレワーク環境を整備する。 また、庁内リモート会議機能を搭載したグループウェアシステムや情報機器等の調達により、庁内業務におけるリモート会議の一層の利活用促進を目指した環境整備を行う。 | R2.10 | R3.3 | 31,719,600 | 30,900,000 | システム構築等委託料 26,241,600円 サーバー機器購入 5,478,000円 | 執務室内に制限されない業務形態を実現でき、また研修やリモート会議等の質も向上し、職員の業務効率が向上した。 | 管財課 |
| 44 | 非デジタル対応情報提供事業 | 現在手作業で行っている新型コロナウイルス感染症にかかる資料作成において、紙折り機能やステープル機能等による小冊子作成機能を有する高速処理輪転機を導入することにより、市民への情報発信効率及び対策会議等内部検討に要する資料作成効率の向上を図ると共に、資料作成に係る事務負担軽減により3密を軽減を図る。 | R2.10 | R3.3 | 5,717,800 | 4,907,000 | 高速カラー印刷機購入 5,717,800円 | デジタル機器に不慣れな方に配慮した情報提供手段として、従来からの紙ベースの資料を作成するにあたり、高速カラー印刷機を導入することで資料作成の効率化と事務負担軽減による3密回避に寄与することができた。 | 管財課 |
| 45 | 感染拡大防止備品整備事業 | 庁舎玄関入口やイベント開催時等において、来庁者(来場者)が安心して入場できるよう、また感染予防のためAI非接触型体温計を導入し、感染症対策を強化する。 | R2.10 | R3.2 | 1,712,040 | 1,712,000 | 顔認証機能付き非接触体温測定器 1,712,040円 | 庁舎入口等に非接触型体温計を設置したことで、庁内における感染拡大の防止を図ることができた。 また、イベント会場等にも設置することで、人が体温測定を行う必要がなくなり感染リスクが低下したほか、体温測定を迅速に行えるようしたことで3密を回避することができた。 | 管財課 |
| 46 | 救急隊感染防止支援事業 | 新型コロナウイルス感染症の疑いのある要救急搬送患者を搬送する救急隊を感染から防止するため必要な物資及び消防庁庁舎内での感染症対策に要する資材の購入を行う。 | R2.4 | R3.3 | 932,000 | 932,000 | 奈良県広域消防組合分担金 932,000円 | 感染防止衣等の救急搬送中の感染防止のための物品を購入するために利用され、救急隊員の新型コロナウイルス感染症等の感染リスク低減に繋がった。 | 危機管理課 |
| 47 | 必需物品供給事業 | 新型コロナウイルス感染症に対する市民への啓発及び65歳以上の市民や各学校施設等にマスクの配布を行うと共に、市役所や各施設に必要な消毒液等の確保を行う。 | R2.4 | R3.2 | 6,965,002 | 6,964,000 | マスク等消耗品 6,202,515円 その他諸経費 762,487円 | 市販のマスクが購入できない状況下であったため、マスクを配布することにより、高齢者がコロナに罹患することによる重症化予防や学校等集団生活における感染防止対策として効果があった。また消毒液の配置等により市民や庁舎等における新型コロナウイルス感染拡大防止効果があった。 | 保健福祉センター |
| 48 | サテライトオフィス・リモート環境整備事業 | クラスター発生時における業務機能停止の防止対策として、クリーン・オアシス施設内を予備執務室とする環境整備を行う。 また、3密回避及び業務効率化を目指して、感染症対策本部会議を始め、各種庁内会議において、各支所(西吉野支所、大塔支所)とのリモート会議を可能とする環境整備を行う。 | R2.5 | R3.3 | 1,266,933 | 1,266,000 | システム構築等委託料 781,000円 タブレット購入費 238,656円 通信費 247,277円 | 職員分散勤務が可能なサテライト・オフィスを整備できた。 また、支所間との移動時間と経費の圧縮、情報伝達の円滑化により、職員の業務効率が向上した。 | 管財課 |
| 49 | 観光施設感染拡大予防改修事業 | 宿泊施設ロッジ「星のくに」のドーム付バンガロー内トイレ、周辺施設利用者用のトイレ・手洗いについて感染予防対策を講じた仕様に改修。 | R2.10 | R3.7 | 3,185,600 | 3,185,000 | ロッジ星のくに改修工事 3,185,600円 | 和式トイレから洋式トイレに変更することで、飛沫拡散防止及びトイレ床の乾式化で雑菌等が繁殖しにくい環境となった。また、不特定の人が利用する周辺施設利用者用トイレにはセンサー付自動水栓を設置し、安心して施設を利用できるようになった。 | 企業観光戦略課 |

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業の効果検証

| No. | 交付対象事業の名称 | 事業の概要 | 事業始期 | 事業終期 | 総事業費 (円) | 補助対象事業費 (円) | 事業実績 | 効果検証 | 担当課 |
|-----|---------------------|--|-------|------|-------------|----------------|--|--|-------------|
| | | | | | | | | | |
| 50 | オンライン教育相談導入事業 | 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の不安や外出自粛等の理由から、相談先である子どもサポートセンターに来れない人に対して、オンラインでカウンセリングを行えるよう必要な無線LAN等の通信環境整備やタブレットの導入を行う。 | R2.10 | R3.3 | 877,800 | 877,000 | ネットワーク整備委託料 877,800円 | オンラインカウンセリングの環境を整備したことで、新型コロナウイルスが原因で相談に来られない人へのフォローができた。 | 子どもサポートセンター |
| 51 | 公共施設の安全安心確保事業 | 不特定多数の利用がある公共施設において執務室を含む施設内の飛沫感染防止対策として、感染防止シートやアクリル板等を設置、手指消毒アルコール、除菌洗浄シート等を配備する。 | R2.5 | R3.3 | 1,312,549 | 1,312,000 | アクリル板・消毒液等消耗品 1,224,799円 空気清浄機等備品 87,750円 | 感染拡大防止用資材を配備したことで、利用者同士や職員間の感染対策を徹底しながら事業を継続することができた。 | 管財課 |
| 52 | 新型コロナウイルス感染症対応職員人件費 | 新型コロナウイルス感染症対応のための体制拡充等に必要となる人件費 | R2.5 | R3.4 | 2,773,713 | 2,773,000 | 人件費 2,773,713円 | 新型コロナウイルス感染症対応のために発生した職員の時間外勤務手当に対して交付金を活用した。 感染症拡大防止事業を継続するための人手を確保し、市内の安心安全に寄与することができた。 | 秘書課 |
| 53 | 子ども・子育て支援交付金 | 新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業により春休み終了日の翌日以降、平日において午前中から開所するための経費及び人件費 | R2.4 | R2.6 | 1,647,238 | 549,000 | 人件費 716,238円 施設利用経費 931,000円 | 小学校臨時休業による児童の居場所として学童保育所を活用するため配置する学童指導員の雇用に活用することにより、児童の安全確保に有効につなげることができた。 | 児童福祉課 |